

第 25 回定例会 予算特別委員会 意見表明原稿（案）

2025 年 3 月 18 日（火）10:00～

最終稿

【前文】

皆様こんにちは、日本維新の会の寺井大地です。

日本維新の会を代表いたしまして、本委員会に付託されました令和 7 年度予算案並びにその他関連諸案件につきまして、意見表明を行います。

松本市長は、市政方針演説において『想像の共同体』という書籍を引用しながら、マクロな視点で捉える地域の経済社会情勢と、ミクロな視点で見える一人ひとりの置かれた状況や感情に違いに対して、人の共感する力を活かし、謙虚に心の通った温かい政策を実現していくとのことでした。まさにその通りであり、私たち市議会議員も、それぞれの地域に根差し、ミクロの目線で目の前の市民の声を届ける者として、そして将来の尼崎市全体を考えるマクロの目線を持つべき者として、この価値観の重要性について共感しております。

松本市長の 3 度目の予算編成は、市民に実感してもらうことを意識されたとのことでした。

交通利便性や駅前再開発などの取り組みにより、若い世代や外国人を含む新たな住民の流入が進み、転入超過数は 2,400 人を超え、本市は「選ばれる都市」へと変わりつつあります。一方で、少子高齢化の大きな流れは避けられず、人口減少が続いています。ファミリー世帯の流出超過も依然として止められない状況です。こうした課題に対し、転入してきた若い世代が尼崎市で結婚し、子どもを産み育て、尼崎に誇りを持って暮らしていける環境を整備することが、今後ますます重要となります。

私たちも厳しく指摘させていただく点がありますが、本市が兵庫県内、さらには関西で、日本で「最も住みたい・住みよい・選ばれる街」となることを願い、ぜひ今後の施策に反映していただきたいと考えております。

それでは、各施策ごとに意見を述べさせていただきます。

財政運営方針にもとづいた市債の発行について

本市は、令和5年度から14年度までの10年間にわたり財政運営方針を策定し、財政規律を維持しながら行政運営を進めています。この間、金利の変動が予測されるものの、発行済みの市債は固定金利であるため、財政への直接的な影響はありません。しかし、今後の借入に関しては、市債の借入期間の短縮や新規発行額の抑制など、堅実な財政運営に努めていただくよう要望いたします。

物価高騰支援について

年々物価は高騰しており、本市も多様な施策を行なっていますが、偏りのある支援策になっています。水道代の減免や価格高騰をしている米の補助などをはじめとした、本市にお住まいの全ての方に行き渡る物価高騰支援を実行することを要望します。

【危機管理安全局】

防災対策について

本市は分散備蓄が基本となっていることから、すべての避難所に災害用の間仕切りテントや段ボールベッド、食料品や生活用品の備蓄があるわけではなく、飲料水においては備蓄は全くありません。市民の安心・安全を確保するためにも、速やかに指定避難場所の環境改善を進めることを要望します。

また、我が会派からも訴えてきた体育館への空調設備の設置がようやく進み始めることに大変感謝しています。ただ令和7年度は、中学校3校のみであり、全ての体育館に設置されるのはかなり先のことになります。可能な限り早く、全ての学校体育館に空調設備の設置を要望します。

そして、マンホールトイレは全ての避難所に設置が必要です。小・中・高の学校に設置が完了次第、生涯学習プラザのような指定避難所にも設置を要望します。

路上喫煙対策について

令和7年4月1日から、路上喫煙禁止区域で違反した場合、1,000円の過料徴収が始まりますが、周知啓発が十分に行われているのか不安な点もあります。また、喫煙者が路上で喫煙できなくなることから、喫煙エリアの整備など喫煙者への配慮も必要です。過料徴収に関する周知・啓発と、喫煙所の設置を進め受動喫煙の防止に努めていただくことを要望します。

【総合政策局】

現役世代への支援について

市長公約の1つでもある18歳までの医療費助成の拡充は、我が会派も要望しており実現していただいたこと非常に嬉しく思っています。ぜひ市長には、この医療費助成の更なる拡充や、多子世帯向けの支援、国でも議論されている給食費無償化に向け、現役世代の負担軽減となる施策の実行を要望いたします。

南の口公園の整備について

尼崎市で初めてとなる協働型公園となります。公園整備後の利用ルールづくりや自主的な管理運営に向け、丁寧に合意形成を図っていき、地域市民の皆様に愛される公園に生まれる変わるよう要望いたします。

多文化共生への施策について

特定技能2号への移行や育成就労制度の導入により、本市の外国籍住民はさらに増加すると推測されます。私たち日本人が、安心して穏やかに暮らすためには、外国籍住民の方が、しっかりと勤労し、地域に根ざし、言葉の壁を乗り越えて、共生をすることが重要になってきます。そのために、就職・住居・暮らしの支援や、外国人児童生徒が安心して学べる環境の提供など丁寧に進めていただくようを要望いたします。

【総務局】

本市の DX 推進について

少子高齢化や生産年齢人口の減少といった社会の変化は避けられません。だからこそ、限られた資源を最大限に活用し、効率的な行政運営を実現するために、DX の推進は不可欠です。「あまがさき共創 DX プラン」のもと、市民や職員の視点を重視しながら取り組みを進めてこられた結果、少しずつ成果が現れています。かつては、近隣市と比べても DX の計画すらなく、職員の意識にも大きなばらつきが見られた本市ですが、今やその姿は大きく変わってきているのではないのでしょうか。

今後は、ハード面の整備、DX 推進員の活動強化、オンライン申請の更なる拡充、その他先進的な取組みをさらに推進し、市民に「尼崎市は DX に力を入れている」と実感してもらえるよう市内外に大きく発信すること、日本有数の DX 先進都市として、多くの視察を受け入れるような尼崎市を目指すよう取り組みを進めることを強く要望します。

債権管理について

未回収債権約 52 億円の更なる削減に向け、新たに統合される「公文書（こうぶんしょ）・債権管理担当」においては、専門性を一層発揮し、組織一丸となって効率的かつ効果的な取り組みを推進されるよう要望いたします。

【福祉局】

児童相談所の開設（設置）に向けた取組について

令和 8 年 4 月から児童相談所が開設されます。兵庫県が設置する児童相談所と同じ敷地内にありますが、県と市の 2 つの組織に分かれている事で、支援に関わる情報共有に時間を要するという課題があります。残り 1 年間、県と市の連携を一層深め、こどもたちのために迅速な対応が行われるよう、人材確保と市としての連携体制の構築しっかりと準備していただくことを要望します。

【保健局】

休日夜間急病診療所建設工事の進捗状況と広報について

現時点において11月の開設に向けて予定どおり順調に進んでいるとのことですが、供用開始まで滞りなく進捗していただくこと、そして移転に係る市民への周知を丁寧に行なっていただくことを要望いたします。

【こども青少年局】

保育園と児童ホームそれぞれの入所申請のデジタル化について

申請者の負担軽減と職員の超過勤務削減に向け、さらなるデジタル化の推進を要望いたします。

フリースクール補助金について

現在の補助金の支給要件では、1ヶ月に一度もフリースクールに出席しなくても補助金を支給することになっています。フリースクールに行きたくてもいけない児童生徒もいる中で、その子たちにも届くより適正な補助金の検討を要望いたします。

【経済環境企業局】

あま咲きコインについて

あま咲きコインは、コロナや物価高騰による国庫補助があって初めてプレミアムキャンペーンなどが打てる施策になっています。利用者数も年間 65,000 人で頭打ちとなっており、利用者の分析が不可欠です。また、経済効果についても、累計何億円が流通しましたという言葉ばかりで、具体的にどのような経済効果が出たのか分析の報告もありません。持続可能なあま咲コインの活用と、経済効果の分析、そして事業を存廃する判断基準についても検討するよう要望します。

尼崎城について

尼崎城のために 1 億円の寄付を頂いたうち、3000 万円という大きな予算をかけて体験型コンテンツを拡充するとのことですが、来場者アンケートで体験型コンテンツの評価が高いから拡充するとのことですが、今の尼崎城で体験コンテンツ以外売りという売りが特に何もないのですから、アンケートを取ったら体験コンテンツが上位に来るのは当たり前です。せっかく頂いた寄付を最大限に生かすためにも、赤字の尼崎城に行く 3000 万円という投資が定量的にどういった効果を生むか、何年で回収できるのかなど経営面の視点から計画を示すこと、そして経営計画を検討するためにも、公園も含めた尼崎城そのもののビジョンについて再検討していくことを要望します。

じんかい収集等委託事業費について

収集体制については、直営の縮小が進められ、85%が委託化されます。効率的な運営を図る一方で、大災害時に迅速かつ的確に対応できる体制整備が重要です。そのためにも、平常時から災害時を想定した機動的な収集が可能となるよう、訓練の強化を要望いたします。

オープンイノベーションコア尼崎について

まちづくりは、行政が環境を整え、主体は地域で活躍する、企業や個人事業主などのプレイヤーの存在があります。オープンイノベーションコア尼崎での企業支援・創業支援は、経済活動を活性化させるだけでなく、地域のため活動するプレイヤーの強化にも繋がり、街を変えていく取り組みとなると思いますので、九州は福岡、関西は尼崎、と選ばれるよう取り組みを強化していただくことを要望します。

大阪・関西万博について

大阪・関西万博の開幕が目前に迫っています。3月17日（月）時点で、万博の前売り入場券は、愛知万博の前売り券939万枚を超え、1021万枚になったとのことです。期間中には2,820万人の来場が見込まれており、日本（にっぽん）にとって極めて重要な機会となります。

大阪観光局との連携をはじめ、「落第忍者乱太郎」「阪神タイガース」「ボートレース」「商店街」といった本市ならではの特色を活かし、推し活観光の推進などの取り組み予定と聞いております。これらが尼崎市の観光振興やイメージアップにつながるよう、市をあげて積極的に取り組んでいただくことを強く要望いたします。

また、万博は子どもたちにとっては特別な学びの場になります。地球規模の課題に取り組むために、世界各地から叡智が集まるこの大イベントに、ぜひ尼崎市の子どもたちが余すことなく学びにいける機会を確保するよう、万博子ども招待プロジェクトについて本市としても、教育委員会としても前向きに関わることを、そして兵庫県にも引き続き児童生徒単位で参加できるよう訴えていただくよう要望いたします。

【公営企業局】

武庫分区雨水貯留管事業について

発進立坑（たてこう）の場所は、休日夜間急病診療所の跡地が候補地と聞いています。今までの経緯も踏まえて、住民説明会を丁寧に行っていただくことを要望いたします。

【都市整備局】

(仮称)武庫川周辺阪急新駅について

今後の尼崎市の発展において重要な転換点となります。交通の利便性向上に加え、周辺地域の再開発や街づくりにも大きな影響を与えることになります。周辺整備計画は数十年にわたる影響を持つため、思い切った投資を行い、将来を見据えた最適な発展が実現できるよう、より良い整備計画を策定することを要望します。

住宅施策パッケージについて

この事業は子育て世帯の定住・転入を促進するための良い取り組みだと考えますが、個別の施策における条件や内容については疑問が残る部分もあります。この施策がより効果的に実施されるよう、制度についての周知を強化し、ファミリー世帯のニーズに合った住宅の供給を進めることを要望します。

阪急園田駅に接続する園田豊中線の進捗状況について

都市計画道路である園田豊中線は、令和 7 年度末の完成を目指しています。6 月頃の工事着手に向けて、地域への説明を丁寧に進めることと、防犯の観点から駅前広場に防犯カメラの設置をすることを要望いたします。

園田西武庫線の整備について

3 月 23 日に御園工区が開通し、藻川工区も来年度末に開通予定です。全線開通すると、尼崎から大阪北部を東西に通る新たなルートが完成し、交通利便性がさらに向上します。引き続き兵庫県と連携しながら、全線の供用開始に向けて丁寧に進捗することを要望いたします。

駅周辺の放置自転車対策事業について

新しく指定管理者を選定して進められており、提案の中で、子育て自転車の受け入れスペースの拡大や、定期受付のインターネットによる受付の効率化、シェアリングなど利便性を高めていくとのことでした。我が会派の要望に対応をいただいき嬉しく思いますが、キャッシュレスの導入には至っていないようです。自転車の街だからこそ、先進的で時代の流れにあった駐輪場サービスの向上につながるよう要望いたします。

道路橋梁維持管理事業について

道路の植栽帯に設置されている地図や公共施設への案内板の老朽化が進んでいます。スマートフォンの普及により役割を終えた案内板は廃止し、一方で美観が重要な地区においては適切に更新を行う必要があります。これらの案内板の維持管理について、一定の方針を定め、適切な管理体制を整えるよう要望いたします。

【消防局】

救急安心センター事業#（シャープ）7119について

#7119は、導入することで、市民への救急車の適正利用、救急医療機関の受診の適正化、住民の安心・安全の確保といった効果が期待できます。兵庫県との協議を積極的に進めていただき、早期の導入を要望いたします。

【教育委員会】

※残り時間 4 分がちょうどいいペース

高校の無償化について

自民党、公明党、日本維新の会の合意により、所得制限のない高校無償化が始まる見込みとなっています。子どもを持つ現役世代にとっては経済的負担の軽減、子どもたちにとっては自由に学校を選べる環境、都道府県にとっては財政負担の軽減につながる施策となります。一方で、私立高校も無償化されることから、市立高校の魅力を高める取り組みが不可欠です。松本市長が我が会派の代表質問で答弁いただいたように、3 年生では大学受験に特化できたり、留学制度があったり、学校内予備校を設置したり、私立に負けない市立高校にするための工夫は財政的にも課題があるかと思いますが、将来の尼崎市を担う子供たちにとってより良い施策となるよう、引き続きご尽力していただきますようお願いいたします。

教育委員会における DX 推進について

教育委員会においても着実に DX を進めるとデジタル政策監、そして教育長からご答弁をいただきましたが、文教分科会や、その事前説明において、DX を進めることについて教育委員会内で方向性が共有されていないように感じます。教育委員会においても、教員の負担軽減、そして子育て世代の負担軽減のために、前のめりになってオンライン申請の拡充も含めて、DX の取り組みを進めていただくようお願いいたします。

デジタル採点システムについて

デジタル採点システムは 75%の教職員が負担感を軽減できたとのことです。効果がある取り組みだからこそ、より定量的な効果の把握に努めるとともに、小学校やその他の取り組みにも展開していただきますようお願いいたします。

電子黒板について

電子黒板については教育委員会そして教職員の皆様のご努力のおかげで、子供達にとっても慣れ親しんできたツールになっています。一方で、中学校では黒板に貼って使う小さくペラペラなスクリーンを利用しています。小学生でせっかく電子黒板に慣れ親しんでもらったのですから、中学校でも電子黒板を導入していただくようお願いいたします。

中学校部活動の地域移行について

部活動の地域移行は、子どもたちの選択の幅を広げながら、教職員の負担軽減につながる政策です。一方で、指導者の質と量を確保できるのか、保護者の負担金額が高くないのか、6地区1クラブずつで本当の良いか、などさまざまな課題があります。本市の子どもたち、保護者、そして教職員をはじめ関係者すべてにとって最も良い取り組みとなるよう丁寧に進めていただくことを要望いたします。

本市の不登校対策について

フラッグシップとして学びの多様化学校が令和8年に開校します。右肩上がりに増加する不登校児童に対応するためには、この多様化学校の教育実践を横展開させる取り組みが重要となります。開校する前から、どのような教育実践を行うか、どのように横展開させるのかを検討を進め、他の不登校支援の取り組みと合わせ、不登校児童への対策を進めていただきますよう要望いたします。

【選挙管理委員会】

投票率の向上について（25 秒必要・最悪省略）

・本市の投票率は年々低下しております。選挙に関心を持つ市民を増やすための啓発や、期日前投票所を含めた投票しやすい環境整備を進めることを要望します。特に、阪神尼崎駅周辺の期日前投票所設置は重要です。開明庁舎での設置も含めて、阪神尼崎駅周辺での設置を要望いたします。

以上、松本市長におかれましては、我が会派の意見、要望を市政に反映して、尼崎を住みたい、住み続けたい、そして何より目まぐるしく変わるこの時代に取り残されず、日本で最も夢あるまちとなるようお願い申し上げ、日本維新の会の意見表明とさせていただきます。皆様、御清聴誠にありがとうございました。